

News Letter

ニュースレター



名古屋銀行

2023年9月8日



「第42回名古屋銀行チャリティーコンサート」の開催について

名古屋銀行（頭取 藤原 一郎）は、皆さまの日頃のご愛顧に感謝し、「第42回名古屋銀行チャリティーコンサート」を開催いたしますのでお知らせします。

今回は、指揮者に阿部加奈子氏、ピアノ奏者にコンスタンチン・シェルバコフ氏を招聘し、名古屋フィルハーモニー交響楽団の演奏とともにお届けいたします。

なお、チケットの売上金は日本赤十字社及び社会福祉法人中部善意銀行に寄附させていただきます。

記

名 称	第42回 名古屋銀行チャリティーコンサート
日 時	2023年11月9日（木）18：45 開演 （18：00 開場）
会 場	愛知県芸術劇場コンサートホール （名古屋市東区東桜一丁目13番2号）
出 演	指 揮 ： 阿部 加奈子氏 ピ ア ノ ： コンスタンチン・シェルバコフ氏 管 弦 楽 ： 名古屋フィルハーモニー交響楽団
プログラム	ラフマニノフ ピアノ協奏曲第2番ハ短調 作品18 ラフマニノフ 交響曲第2番ホ短調 作品27
入 場 料	全席指定 料金一律 1,000 円（チャリティー協力金として）
チケット 販売開始日	2023年9月17日（日） 10：00～
チケット お取り扱い	アイ・チケット TEL：0570-00-5310 WEB： https://clanago.com/i-ticket チケットぴあ WEB： https://t.pia.jp 愛知芸術文化センタープレイガイド TEL：052-972-0430
お問い合わせ	クラシック名古屋 TEL 052-678-5310
主 催	名古屋銀行

以 上

第42回

名古屋銀行 Bank of NAGOYA Charity Concert チャリティーコンサート

2023 11.9 (木)

愛知県芸術劇場コンサートホール

18:45開演(18:00開場)
全席指定 1,000円(税込)9月17日(日) 10:00~
一般発売開始

チャリティーコンサートとしては、今回が15回目になります。チケットの売上金は日本赤十字社および社会福祉法人中部善意銀行を通じて、地域の社会福祉向上に役立たせていただきます。

指揮
阿部加奈子ピアノ
コンスタンチン・シェルバコフ管弦楽
名古屋フィルハーモニー交響楽団

Program

ラフマニノフ

ピアノ協奏曲第2番ハ短調 作品18

ラフマニノフ

交響曲第2番ホ短調 作品27

主催 / 名古屋銀行 お問い合わせ / クラシック名古屋 ☎052-678-5310

チケットお取扱い

 アイ・チケット ☎0570-00-5310 <https://clanago.com/i-ticket>
 芸文プレイガイド ☎052-972-0430 チケットぴあ <https://t.pia.jp>

※未就学児のご入場はご同伴の場合でもお断りいたします。※やむを得ぬ事情により出演者、曲目等が変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。※車椅子席をご希望のお客様は事前にクラシック名古屋 052-678-5310 へお問合せください。



アイ・チケット



チケットぴあ



名古屋銀行

演奏家プロフィール

Conductor : Kanako Abe

指揮 : 阿部加奈子



©Ryota Funahashi

オランダ在住。東京藝術大学音楽学部作曲科を経て、パリ国立高等音楽院にて作曲に関連する6つの課程とともに日本人として初めて同音楽院指揮科で学ぶ。これまでに作曲を永富正之、指揮をジョルト・ナジ、ヤーン・シュ・フルスト、ファビオ・ルイーゼ、エティエンヌ・シーベンスなどに師事。在学中よりヨーロッパを拠点に指揮者、ピアニスト、作曲家として多方面で活躍。2005年に現代音楽アンサンブル「ミューラテラル」を創設。2014年まで音楽監督を務める。これまでにIRCAMとの提携、ラジオ・フランスへの録音をはじめ、ストラズブル音楽祭、ヴェネツィア国際現代音楽祭などで160曲以上の世界初演を手がける。その一方で、チューリッヒ歌劇場やモンペリエ国立歌劇場でファビオ・ルイーゼ、エン

リケ・マツォーラ等のアシスタントを務める。これまでにイル・ド・フランス国立管、モンペリエ国立管、ギャルド・レピュブリケーヌ管、ジュネーヴ室内管、日本では東京フィル、新日本フィル、東京シティ・フィル、大阪フィル、兵庫芸術文化センター管などと共演。

2022年7月にブシュ・エル＝トゥルクのオペラ「Woman at Point Zero」の世界初演でエクサン・プロヴァンス音楽祭に、2023年6月に同曲でロイヤルオペラハウスにデビュー。現在、フランス・ドーム交響楽団とハーグを拠点とするアンサンブル・オロチの音楽監督を務める。ハーグ音楽院非常勤講師。

公式ホームページ <https://kanakoabe.com/>

Piano : Konstantin Scherbakov

ピアノ : コンスタンチン・シェルバコフ



©Ele Sánchez

1983年(第1回)ラフマニノフ・コンクールで優勝。その後モントリオール、ボルツァーノ、ローマ、チューリッヒの権威ある国際コンクールで受賞した。シェルバコフは旧ソ連で着実にキャリアを積み、主要なオーケストラと共演。100以上の都市でリサイタルを開いた。ルツェルン音楽祭で現代のラフマニノフとして批評家に賞賛された彼は、1990年、イタリアのアーゾロの第20回室内楽音楽祭で国際的なキャリアをスタートさせ、4回のリサイタルでピアノ独奏のためのセルゲイ・ラフマニノフ作品全曲を演奏し、スヴァトスラフ・リヒテルに絶賛された。1992年に家族とともにスイスに移住。その後、

彼のキャリアは急成長を遂げ、シェルバコフは今日もっとも多くの録音を残すピアニストの一人である。たとえば、ナクソスのフランツ・リスト・ピアノ曲シリーズへの彼の貢献には、リストのペートル・ヴェーンの交響曲のトランスクリプション(交響曲第9番は2005年のドイツ批評家賞を受賞)の演奏が含まれ、高い評価を得ている。コンサートやレコーディングで多忙なスケジュールをこなすかわり、1998年にはチューリッヒ芸術大学の教授に就任。定期的にマスタークラスを開催し、また権威ある国際ピアノ・コンクールの審査員も務めている。

Orchestra : Nagoya Philharmonic Orchestra

管弦楽 : 名古屋フィルハーモニー交響楽団



日本有数のオーケストラの一つとして、愛知県名古屋市を中心に東海地方の音楽界をリードし続けている。その革新的な定期演奏会のプログラムや、充実した演奏内容で広く日本中に話題を発信し、「名フィル」の愛称で地元では親しまれ、日本のプロ・オーケストラとして確固たる地位を築いている。2023年4月より、名フィル指揮者・正指揮者を12季務めた川瀬賢太郎が音楽監督に就任。現在の指揮者陣には小泉和裕(名誉音楽監督)、小林研一郎(桂冠指揮者)、モーシェ・アツモン(名誉指揮者)、ティエリー・フィッシャー(名誉客演指揮者)が名を連ねている。また2023年4月には

小出稚子が第4代コンポーザー・イン・レジデンスに就任。楽団創立は1966年。1973年に財団法人に、2012年に公益財団法人となる。2013年に東海市、2016年に愛知県立芸術大学、2018年に豊田市と、それぞれ音楽教育の推進や文化芸術の振興を目的とした協定を締結している。現在は、意欲的なプログラミングの「定期演奏会」をはじめ、親しみやすい「市民会館名曲シリーズ」、障がいのある方を対象とした「福祉コンサート」など、バラエティに富んだ年間約110回の演奏会に出演している。

会場のご案内

愛知県芸術劇場コンサートホール

〒461-8525 名古屋市東区東桜1丁目13番2号 愛知芸術文化センター4F
TEL(052)971-5511(代表)

地下鉄「栄駅」4番出口より徒歩3分

